

---

# ダブルスの王子様 ~ ALL JAPAN ~

福士 ミッチェル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ダブルスの王子様〜ALL JAPAN〜

### 【Nコード】

N5166Y

### 【作者名】

福士 ミツチエル

### 【あらすじ】

白石蔵ノ介の従兄弟、白石北斗を視点に高校合宿で成長していくストーリーです。

## ブローグ

俺の名前は白石 北斗

柿ノ木中学校の三年生でテニス部の副部長である。

俺たちの代ではかつて名門といわれ全国にも何度も出場している面影はなく

関東大会がせいぜいというくらいであった。

3年生としては最後の大会となった今夏の大会では地区予選ではベスト4まで勝ち進むも

準決勝では新興勢力不動峰にストレートで負け、俺の出番が回る前に終わってしまった。

しかも、部長である九鬼が相手の二年生に1セットもとれず負けるという惨敗であった。

これによって俺の3年間はあっけなく終わったかに見えたが・・・

本職である、ダブルスでは激戦区である関東を勝ち抜き、団体戦で一躍有名になった

強豪ペアが集るなか、俺の親友でもあり相棒である殿馬 幸喜と俺のペアは

クジ運に恵まれたのもあるが、順調に勝ち進みベスト4に進出した。

残念ながら、準決勝で青春学園を優勝へ導いたゴールデンペアと名高い菊丸、大石ペアには

タイブレークまでせるも負けてしまったが総合3位という成績で最後を締めくくり

なんとか名門柿ノ木の面目は、こういう形ながらも維持(?)できたのかもしれない。

その成績が、響いたのかもしれないが俺と殿馬はそろって高校日本代表候補のキャンプに参加する

中学生50人に選出されたが、相方の幸喜は家庭の事情を理由に要請を断つてしまい・・・

俺一人で合宿に参加することになってしまった。

早速現地にいつてみたらいったで初日から大慌てである。中学生の参加を快く思わない

高校生に罵られるわ、首脳陣から誘ってきやがったのに300人は少々多いからって

ボールをとれなかった者は速やかに帰れとか言われる事態に発展しなんと、そこで中学生達がボールをまとめてふんどつてしまい、大半の高校生がボールを取れない事態が起こり、怒った高校生がテニスで決着つけようぜといい始めて・・・

いろんなコートから中学生と高校生がボールを打ち合う音が聞こえる。

そして、それを見る高校生の中学生に対する罵声もそこらかしこで聞こえてくる。

ここまでは、普通の出来事だったいや・・・中学生を気に食わない高校生はたくさんおり

罵声をあびせなくなるのは当然である。

しかし、この状況下でありえない現象が起こっていた。

そうそれは、すべてのコートにおいて中学生が勝っているという出

来事だ。

しかも、中学生の一方的な展開で・・・

今もまた一人。二人と高校生が負けては嘆く声が聞こえているのも事実であつた。

それと同時に中学生も一人、二人と高校生に指名されては試合をやらされている。

俺は幸いまだ指名をされておらず、ただ一人突っ立って試合を見ていた。

そんな時、高校生の大声が間近で聞こえてきた。

『おい、その白髪野郎！！俺と勝負せんかい！！！！』

『お・・・俺ですか！？』

いきなり、大声で指名され驚く白髪の少年・・・

『はよ出てこんかい！！』

『はいはい・・・わーとりますよ』

白髪の少年がシブシブラケットを手に取りコートに出た。

そのやり取りを見ていた俺はその少年がコートに出たときビックリした。

何故なら・・・白髪の少年とは俺の従兄弟であり四天宝寺中学テニス部部長

白石 蔵ノ介だったからである。

俺も小学生の頃までは、大阪に住んでいて従兄弟である蔵ノ介とはよくテニスを競い合った仲間である。

だが、あいつは天性の才能なのか・・俺よりもみるみる上達していき・・

しまいにはアイツには全然勝てなくなっていた。

中学生になる頃・・俺は親の都合で東京へと引越しやがてあまりあわなくなったが

この三年間・・アイツは完璧を求めるテニススタイルを確立し試合になると私情を切り捨て

基本を忠実にもとめるがゆえのパーフェクトテニスで四天宝寺を今夏の大会でベスト4に導く

立役者になっておりその働き振りから通称『四天宝寺の聖書』バイブルなんて言われていると聞いた。

俺も、ダブルス全国3位とはなったもののやはり大会と花形といえは団体戦であり

そっちにはばかり注目されるがあまり・有名ではないのがげんじつであった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5166y/>

---

ダブルスの王子様～ALL JAPAN～

2011年11月17日21時24分発行